

雪舟

益田は
雪舟の
聖地。

第四号
Vol. 4
2023 SUMMER
雪舟の庭を愛でる会

雪舟さんが益田に残してくれ たもの。

雪

舟さんが築き益田に残してくれ
たものは、仏の世界を主題にし
た有難い「萬福寺庭園」と長寿
を祈る鶴亀が目出たい「医光寺庭園」の

二つの国指定史跡及び名勝の庭園です。

絵画は、早く国宝にと願う「益田兼堯
像」や、兼堯の孫の祝いに描いた「四季
花鳥図屏風」、益田の原景を描いたとさ
れる「山寺図」です。いずれも大喜庵の

隣の「雪舟の郷記念館」で実物や複製の
展示・イベントなどを行っています。

遺跡は、晩年を過ごした大喜庵(東光
寺)と、境内にある墓、硯水靈巖泉、医
光寺の灰塚などがあります。

雪舟さんはこれらの作品を通して私た
ちに何を教え伝えてくれているのでしょ
う。雪舟さんに聞く事は出来ません。庭
園や絵画の前にまっすぐ立ち、しっかり
向き合い、自分なりにメッセージを感じ、
受け取って下さい。

益田市内には道路、橋、団体、校歌な
どに「雪舟」の名がつくものが数多くあ
ります。子供絵画・水墨画教室、雪舟さ
んまつり、雪舟忌、すごろく、紙芝居ユ
ーチューブ制作など、いろいろな所で広
く雪舟さんをリスペクトした活動が行わ
れています。

雪舟さんは酒が相当好きだったよう
です。「天開図画楼記」に絵を描く手順(ル
ーティン)は、まず、どぶろくを飲み、
尺八を吹き、詩吟を吟り、へその下に力
を込めて一気に描いたそうです。

また、乙吉では酔って溝に落ちたなど
微笑ましいエピソードが残っていま
す。残念ながら染羽や乙吉など益田
の人達との交流話は見つかりませ
んでした。

人間味のある偉大な雪舟さんの自
慢話を広く、長く、私たちは語り続け
ていきます。

益田市立雪舟の郷記念館 電話 0995(24)05000 ホームページ <http://www.iwami.or.jp/sessyu3/>



子供絵画展



雪舟の郷記念館作成



雪舟さんまつり



「昔の石見の絵芝居」(全48話)
雪舟編 作・原田フジエ



YouTubeで
ご視聴いただけます



海を渡る雪舟

寧波へ渡った48歳頃の雪舟さんのイメ
ージ。寧波市友好30周年記念として益田
市から寧波市へ寄贈。作・川崎麻央(日本
画家)益田市出身。東京芸術大学大学院修了。
2022年院展で「音楽室は根の国」大観賞
受賞。



記念館展示風景



花鳥図扇子
500円 記念館

私たちは「雪舟の聖地」と宣言します。

日本はこれから主として中世史の調査、研究が進められていくと言われています。中世を代表する画聖雪舟は益田が「終焉の地」と言われ、市内に多くの遺跡が残っています。今後雪舟は研究の対象となり、つれて益田の歴史も調査の対象になると思われます。「益田と言えは雪舟」「雪舟と言えは益田」と全国に観光地として発信できるでしょう。市民の皆さんと益田を「雪舟の聖地」として宣言し活動していきます。

益田で亡くなった根拠（エビデンス）はコレです！

一、「牛庵一代御奉公覚書」① 益田家文書 ※雪舟没地について記した最も古い文献
雪舟は老い極まり候て石見の益田へ罷り越され、彼の地において落命仕り候

二、「雪舟伝」 ※秋明倫館学頭山県周南
雪舟、山口を去り、石州益田乙吉村大喜庵に居り、文亀二年壬戌遷化す。寿八十三歳。墓大喜庵に在り

三、「宝福寺境内の雪舟禪師之碑」
石見国益田の大喜庵に移り住みて、文亀二年という年にみまかりぬ。年八十三。墓はその庵の垣内に有りとなも

四、「石見州大喜庵記」
雪舟はここからの眺めが中国の瀟湘の風景と類似していたため、終焉地と定めたといい

五、「法名(戒名)、位牌、墓、灰塚」③ ※戒名が残されている事は歴史学という第一級の史料
戒名は東光前住雪舟等楊大和尚禪師

六、「雪舟禪師五〇〇年法要」
二〇〇六年四月、京都東福寺の福島慶道管長の下、医光寺で行われた

七、「大喜庵の約鐘」④
大喜庵は雪舟さんが亡くなった寺である。死後二〇〇年、都茂の大喜松祝は全国を廻り寄進を募り大喜庵を結んだ。鐘を鳴らし雪舟さんを偲ぶ

その他「雲谷庵誌」「大内氏実録」「名人忌辰録」など益田終焉説は多い。



④ 戦争中、国の鉄供出要請に本堂の下に埋めて隠した。



②



③



①

東京大学史料編纂所



◎参考文献 山陰中央新報「雪舟さんの旅」

◎写真提供 雪舟の郷記念館、東京大学史料編纂所

そうじ体験イベント

毎月医光寺(第2土曜日)、萬福寺(第4土曜日)8時30分から10時まで落葉や雑草の除去を実施します。雪舟庭園のそうじは私たちの原点です。



ガーデンツーリズム



雪舟回廊

スタンラリー

詳細情報画面

ガーデンツーリズムとは、地域活性化と庭園文化の普及を目的に、各地域の複数の庭園が連携する取組を国土交通省が支援するものです。令和2年度にスタートした制度ですが、「雪舟回廊」は初年度の第3回の審査会で認定されました。令和5年6月時点、全国15の計画が登録されています。

「雪舟回廊」は雪舟ゆかりの6自治体、岡山県総社市・井原市、広島県三原市、山口県山口市・防府市、そして島根県益田市で構成され、9つの庭園が登録されています。益田市からは皆様良くご存じの萬福寺庭園そして医光寺庭園が登録されています。現在「雪舟回廊」を構成する庭園をお得に巡っていただくことができる、「ドライブスタンプラリー」を開催中です(12月25日)。この機会に「雪舟の作品に出会うことができる旅」に出かけてみませんか？

情報募集!

第3号の「絵画編」はどうでしたか。今回は「益田に残してくれたもの」です。感想などの情報を◎封書◎メール◎ツイッターでどんどんお寄せください。お待ちしております!

発行日◎2023年7月20日 発行◎雪舟の庭を愛でる会 篠原 亨(会長)

住所◎〒699-5125 益田市白岩町1133番地 メール◎makoto-shinohara@van-archi.com

ツイッターID: @masuda_sesshu

